



2014-2015

Global Explorers to Cross Borders

グローバルインターンシップ(G.ecbo)プログラム
—海外・国内インターンシップ—

募集要項



広島大学国際センター
G.ecbo プログラム事務局



1 G.ecbo (ジーエクボ) プログラムとは…

G.ecbo プログラムは、国際社会の中で活躍できる実践的研究者と高度専門職業人の育成を目的として、主に日本国外でのインターンシップを核に実施される大学院特別教育プログラムです。本プログラムでは、原則全学の大学院生を対象に分野横断的な課題に携わる国際機関、教育・研究機関、政府機関、NGO、開発コンサルタント会社等多様な受入機関へインターンとして1~2か月程度学生を派遣します。このほか工学研究科(ECBO プログラム、海外共同研究)や国際協力研究科(i-ECBO プログラム)のように、特定の研究科に在籍する学生のみを対象に海外インターンシップを提供する専門 ECBO プログラムも実施されています。本プログラムの詳細については、別冊リーフレット、またはホームページ(<http://www.hiroshima-u.ac.jp/gecbo/index.html>)を御覧ください。



2 プログラムの概要と研修科目の履修について

本プログラムでは、現地でのインターンシップ活動を通じて得られた体験を、より長期的な観点から実りあるものとするため、インターンシップ派遣の前後に研修を行うサンドウィッチ型教育を採用しています。具体的なプログラムの構成は下表1. のとおりです。本プログラムへの参加を希望する学生は、原則、①コア科目と、②専門科目の履修、赴任前の③リスク管理セミナーへの参加と、帰国後④帰国報告会での成果発表を行うことが義務付けられています。

表1. G.ecbo プログラムの構成と研修科目

	事前研修			海外・国内 インターンシップ		事後研修	
	事前 コア 科目	専門 科目	リスク 管理 セミナー	現地 研修/ 研究 活動	現地 中間/ 最終 報告会	帰国 報告会	事後 コア 科目
G.ecbo/ i-ECBO	◎	◎	◎	◎	○	◎	◎
その他の 専門 ECBO	△	◎	◎	◎	○	◎	△

◎は原則必須。○は推奨。△は一部選択可。事前履修科目は担当教員と相談すること。

ただし、コア科目や専門科目の取り扱いと具体的な履修科目については、応募学生が所属する研究科によって若干異なります。また、専門 ECBO プログラムについては、実施担当研究科において独自に設定されているため、事前に所属研究科学生支援室および G.ecbo 事務局 (gecbo@hiroshima-u.ac.jp) までお問い合わせ下さい。

① コア科目

コア科目は、現地での円滑な活動に必要な課題発見・解決能力とコミュニケーション能力の基礎を形成するために、派遣前に履修すべきものと、現地での活動の振り返りと経験知への深化を目的に帰国後に履修すべきもので構成されています。各科目・研修の履修時期とプログラム別履修要件については、下表2のとおりです。

表2. G.ecbo プログラム・コア科目 (平成26年3月現在)

科目群	履修時期	G.ecbo/ i-ECBO	その他 専門 ECBO	科目名
演習形式科目群 (正規科目)	事前	必須	選択可	能力開発特論(前期)*1
その他の研修等 (単位なし)	事前	必須	選択可	英語プレゼンテーショントレーニング*2
	事前	必須	必須	FLARE 等による英語研修*3 (一部正規科目有り)
	事後	必須	選択可	課題発見演習*4

*1 大学院共通科目 シラバス参照のこと。受講が難しい場合は必ず事前に事務局と相談すること。

*2 G.ecbo プログラムによる英語発表研修。語学能力に応じ、PPT を用いて派遣前に 2-3 回、帰国後に 1 回実施。

*3 外国語教育研究センター (FLARE) 開講の正規科目または課外コース。

詳細は同センターHP (<http://www.hiroshima-u.ac.jp/flare/>) 参照。

その他、IDEC が開講している英語力向上のための授業 (アドバンスドイングリッシュ、英語論文作法 I、英語論文作法 II) に換えることも可。

*4 活動の振り返りを目的としてインターンシップでの体験をもとに事例教材 (ケース) を作成する演習。

本科目の取り扱いについては所属研究科によって異なるので、G.ecbo 事務局に確認すること。

② 専門科目

専門科目は、現地におけるインターンシップ活動に必要な専門的知識・技術の修得を目的として、派遣前に履修すべき科目のことです。応募者の専門や希望する受入機関での活動によって異なりますので、所属研究室の指導教員や受入機関担当教員とよく相談の上、履修する科目を決定してください。

なお、国際協力研究科に所属する応募学生については、既に履修科目が指定されていますので、本要項 p. 5 を参照してください。

③ その他

上記の科目のほか、海外生活において留意すべき点や海外旅行保険について説明を行う「リスク管理セミナー」への派遣前の参加と、インターンシップ後に実施される「帰国報告会」での成果発表が必要です。

また、本プログラムでのインターンシップ活動について正規科目として単位認定を申請することが可能な場合があります。単位認定の可否や具体的な手続については、所属研究科の学生支援室、または G.ecbo 事務局までお尋ねください。

なお、博士課程後期学生が本プログラムに参加する場合、英語プレゼンテーショントレーニング以外の科目の履修、研修への参加は任意となっております。しかしながら、上記に定めた科目・研修或いはそれらと同等な科目・研修を既修していることが期待されています。

3 平成26年度海外・国内インターンシップ派遣先および受入可能人数

本要項に添付されている別紙1を参照してください。

4 選考方法

- ・応募締切 平成 26 年 4 月 22 日(火) 12:00 正午
- ・提出書類
 - －G.ecbo 海外インターンシッププログラム申請書(別紙様式1*:データ送付要)
但し、国内インターンシップ希望者は国内インターンシッププログラム申請書
 - －志望理由書(英語または日本語で記述、A41～2枚程度)(別紙様式2*:データ送付要)
 - －英語能力試験の証明書の写し(TOEIC、TOEFL、英検等)
 - －指導教員の承諾書(別紙様式3*)
 - －『学研災付帯賠償責任保険(学研賠)』加入の確認書類(保険料支払い領収書写し等)

*様式 1, 2, 3 については、G.ecbo の HP から以下の要領でダウンロード可能
G.ecbo ホームページ→学生の皆さんへ・提出書類→Word/PDF

- ・面接 平成 26 年 4 月 30 日(水)、5 月 1 日(木)、5 月 2 日(金)【予定】・・・原則英語で実施
- ・結果通知 平成 26 年 5 月 9 日(金)【予定】
- ・ガイダンス 平成 26 年 5 月中旬頃【予定】

ただし、受け入れの最終決定は本プログラムからの推薦を受けて受入機関によりなされます。また、派遣国・地域の治安状況や事前研修の習得状況により、プログラム運営委員会が適切でない判断した場合は、インターン派遣を取りやめることがあります。

5 経費補助・義務(p.6 参照) 注:今年度より大幅に変更になっていますのでご注意ください。

- ・プログラムの応募者の中から選考された学生のうち日本国外に派遣される者に対しては、受入機関最寄りの空港までの渡航費【エコノミー利用】について経費補助されます。
- ・渡航にかかるビザ等の諸費用や宿泊費、現地生活費については個人負担となります。ただし、選考の結果優秀と認められた応募学生については、プログラムが申請している奨学金の支給対象者となります。また、選考において優秀と認められたものの当該奨学金の資格要件に合わなかった学生については、同等額をプログラムから支給します。
- ・現地での移動費等諸費用および研究費も原則として本人負担となります。
- ・事前事後研修や各種ガイダンスへの欠席或いは必要提出書類や課題の未提出または大幅な遅延が頻発し、プログラムの遂行が困難と判断された参加学生については、当該学生の参加を停止の上、渡航費、奨学金等返納の対象となる可能性があります。

6 保険の加入 注:今年度より大幅に変更になっていますのでご注意ください。

プログラム参加者には、『学研災付帯賠償責任保険(学研賠)』に加入することを義務付けています。『学研賠』については、申請時に加入を確認いたします。

また、海外インターンシップ滞在時のリスクを最小限とすることを目的として、原則、大学で包括契約をしている『東京海上日動海外旅行保険』に加入することも義務付けています。

7 注意事項

- ・インターンシップ研修の派遣期間については、受入先との協議の上で決定します。一旦決定された研修期間は、派遣国の・地域の治安情勢の悪化や病気等のやむを得ない事情以外、期間の変更は許可されません。
- ・選考結果によっては、本プログラムに併行して、学内の他の経費支援プログラムへの推薦を打診する場合があります。推薦を受ける場合は、別途申請書の作成を依頼することがありますのでご了承ください。

8 専門 ECBO プログラム

① 工学研究科 ECBO インターンシッププログラム

- ・ 工学研究科では当該研究科に在籍する大学院生を対象に、独自に ECBO インターンシッププログラムを行っています。このプログラムへの応募を希望する場合は、応募要領等、詳細について直接工学研究科学生支援グループへお問い合わせください。
- ・ ECBO プログラムへの応募締切は、4月14日(月)17時までとなっています。

② 国際協力研究科 i-ECBO インターンシッププログラム

- ・ 国際協力研究科では、G.ecbo プログラムと連携し、当該研究科に在籍する学生を対象に i-ECBO インターンシッププログラムを行っています。このプログラムに関する質問等につきましては、下記9までお問い合わせください。
- ・ i-ECBO プログラムへの参加に際して履修すべき科目が指定されています。詳細については本要項の P5 をご参照ください。また、プログラム参加者への経費補助については、独自の基準で行っておりますのでご注意ください。具体的な内容については本要項別紙1を参照ください。
- ・ i-ECBO プログラムへの応募締切は G.ecbo と同様に4月22日(火)正午ですが、面接は5月7日(水)8日(木)を予定しています。G.ecbo プログラムの面接予定日とは異なりますのでご注意ください。

9 お問い合わせ及び応募申請書提出先

G.ecbo プログラム事務局(学生プラザ3F)

〒739-8511 東広島市鏡山1-7-1

電話 082-424-5593/4581 FAX 082-424-4545

E-mail gecbo@hiroshima-u.ac.jp

または、i-ECBO プログラム事務局(国際協力研究科 404号室)

〒739-8529 東広島市鏡山1-5-1

082-424-6950 (FAX 兼)

E-mail iecbo@hiroshima-u.ac.jp

【国際協力研究科における履修科目と履修方法】

国際協力研究科から G.ecbo または i-ECBO プログラムに参加を希望する学生は、原則下表の各科目群の中からそれぞれ最低1科目を選び履修することと、2種類の英語研修、ならびに課題発見演習を履修することが条件となります。ただし、英語受験にて入学した学生は、外国語教育研究センター(FLARE)による英語研修の履修は必須ではありません。

《履修科目一覧》

科目群	履修方法	科目名
講義形式科目群	選択 必須	平和構築論(前期:集中講義) *今年度開講なし
		国際環境協力学特論 I/ II (前後期)
		指導教員指定科目
PBL 形式科目群	選択 必須	開発技術論(前期)
		教育協力実践基礎論(前期)
		国際協カプロジェクト演習(前後期)
		指導教員指定科目
演習形式科目群	必須	能力開発特論(前期)*1
その他研修等 (単位なし)	必須	英語プレゼンテーショントレーニング*2
	必須	FLARE 等による英語研修*3(一部正規科目有り)
	必須	課題発見演習*4

*1 大学院共通科目 シラバス参照のこと。受講が難しい場合は必ず事前に事務局と相談すること。

*2 G.ecbo または i-ECBO プログラムによる英語発表研修。語学能力に応じ、PPT を用いて派遣前に 2-3 回、帰国後に 1 回実施。

*3 外国語教育研究センター(FLARE)開講の正規科目または課外コース。

詳細は同センターHP(<http://www.hiroshima-u.ac.jp/flare/>)参照。

その他、IDEC が開講している英語力向上のための授業(アドバンスドイングリッシュ、英語論文作法Ⅰ、英語論文作法Ⅱ)に換えることも可。

*4 活動の振り返りを目的としてインターンシップでの体験をもとに事例教材(ケース)を作成する演習。

また、国際協力研究科では上記プログラムでのインターンシップに参加することによって、「インターンシップ」科目として2単位を取得することが可能です。単位申請手続については、学生支援室、又は各プログラム事務局までお尋ねください。

なお、博士課程後期学生については、英語プレゼンテーショントレーニング以外は任意となっております。しかしながら、上記科目或いはそれらと同等な科目を既修していることが期待されています。

2014年度 G.ecbo プログラム費用補助説明/G.ecbo Program Financial Assistance 2014

必要経費/Necessary Expense		G.ecbo Internship Program	i-ECBO Internship Program	備考/Remark
旅費 Transportation	自宅 Your house⇄西条/東広島駅 Saijo station	×	×	*日程確定後に大学指定業者へ連絡し、チケットの手配
	東広島駅・西条駅⇄空港 (JR)			*Contact one of travel agents below after internship schedule is fixed.
	Higashihiroshima or Saijo Station ⇄ Airport in Japan (JR)	◎	◎	【大学指定業者】 広島大学生協トラベルセンター/生協霞トラベルショップ、トラベルファクトリー、 トラベルネットスタジオIC事業部、近畿日本ツーリスト(株)広島支店、 (株)西日本日中旅行社 広島支店、(株)アートツーリスト
	空港⇄現地空港(Air) Airport in Japan⇄Overseas Airport	◎	◎	【会計手続きに必要な書類/Necessary documents】
派遣国内移動費について	★事務局協議要 Prior consultation required. (陸路での移動が難しい場合の航空費のみ)例:インドネシア、フィリピン、ネパール (出発前申請が必要)		帰国後1週間以内に航空券の半券すべてを提出 Submit all Airplane Boarding passes within 1 week after your return to Japan. 提出出来ない場合には、返納の可能性もあります。 In case you forgot to bring back these, you may asked to return the expense. 滞在ホテルの費用概算(メールもしくはHP情報) Estimate for accommodation(email or HP information)	
宿泊・生活費 Accommodation Living Expense	<p>宿泊ホテル代・現地生活費 (前泊・トランジット時の宿泊含む) Accommodation fee, Living Expense (incl. transit hotel)</p> <p>× 原則支給しない</p> <p>ただし、選考の結果優秀と認められた応募学生については、プログラムが申請している奨学金の対象者とする。また、選考において優秀と認められたものの当該奨学金の対象外となっている学生については、同等額をプログラムから支給する。</p> <p>× Not Provided in principle.</p> <p>However, those students who are evaluated excellent in the selection, will be recommended to an available external scholarship. For those students who are excellent, but didn't meet its criteria, equivalent financial support will be provided from the Program.</p>	<p>○実費分 一部補助</p> <p>研修期間(1~30日):5万円まで " (31日~):8万円まで ※渡航期間は研修期間に含まない。</p> <p>○Part of Actual Expense</p> <p>Internship period (1-30 days): up to 50,000 yen " (over 31 days): up to 80,000 yen</p> <p>*Travel period is not included in Internship period.</p>	*外部奨学金、派遣プログラム等を活用する場合には、通常の派遣手続きに加え、各制度、プログラムが規定する各種手続、報告も併せて行う必要がある。	
保険 Insurance	海外旅行保険費用 Overseas travel insurance	×	×	
	学研災 Gakkensai	◎大学負担にて加入済 Already paid by Univ.	◎大学負担にて加入済 Already paid by Univ.	
	学研賠:Gakkenbai(Liability Insurance) (申請時に加入しておくこと)	×	×	
ビザ Visa	ビザ費用 Visa Acquire Expense	×	×	申請を旅行会社に依頼した場合には他に手数料がかかります。
	ビザ取得のための費用 (領事館への交通費・手数料) Other Expenses such as transportation fee to the Consulate General	×	×	
その他 Other				

◎全額補助/Full amount paid by Univ. ○一部補助/Part of Actual expense will be paid ×自己負担/Responsible for all expenses
 ※研修期間とは実習開始日から実習終了日になります。 Please note that internship period counts from the beginning date until the last date of internship.

海外・国内インターンシップ受入(可能)機関リスト(2014-2015年度)

1. Gechoプログラム(全研究科学生対象)

2014.4.1 現在

国名	企業/機関名	受入対象分野	研修・研究テーマ等	研修実施期間	派遣可能人数	言語	宿泊施設	住所	備考
ネパール	FORWARD	開発科学・環境・農林業・社会システム科学	持続的・地域開発、環境・農林業・住民生活に関する社会システム	夏期・冬期(1-2ヶ月程度)	2名程度	英語・できればネパール語	25ドル/日(幹旋あり):食費含む	Nepal, Chitwan郡	本部はチトワン、フィールドに出る際には車両借り上げとなり自費負担となる。借り上げ料金¥4000-5000/日 *ネパール西部は危険レベル3なので要注意
ベトナム	株式会社 アルメック	学生の専門に応じて調整	都市計画、交通学、etc	夏期(1ヶ月以上)	2名程度	英語・日本語	300ドル/月(幹旋可)	ハノイ	JICAの事業請負、インターン学生の研修テーマに応じて研修内容はFlexibleに対応
フィリピン	株式会社 アルメック	学生の専門に応じて調整	総合交通計画管理能力向上プロジェクト	夏期	1名	英語・日本語		マニラ	
フィリピン	フィリピン大学理数科教師訓練センター	理数科教育、教育開発	現職理数科教師訓練・再教育	原則1月~3月(1-2ヶ月)	4名程度	英語	学内ゲストハウス宿泊2000円程度/日	ケソン	受入機関が実施する研修コーススケジュールに併せてインターンシップを実施。
インドネシア	Sukma Bangsa School	平和教育、教育学、学校経営	日本語講師、平和学習、学校経営	ラマダン以外の時期であれば、希望に応じて	何名でも	インドネシア語・英語	学内の寮に滞在、食費代のみ(1日10ドル程度)	ピディ市アチェ州	
カンボジア	メコン大学ビジネス日本語学科	学生の専門に応じて調整	派遣学生の専門により協議	2-6カ月	若干名	日本語 英語	大学内宿泊施設	プノンベン	
ミャンマー	復建調査設計株式会社ヤンゴン事務所	主に土木工学、都市計画、社会科学系も受入可	社会インフラ開発、都市交通計画	1ヶ月程度	1-2名程度	日本語 英語	未定	ヤンゴン	具体的な研修内容については参加者の専門や希望も考慮しながら調整する
バングラデシュ	Grameen Bank	学生の専門に応じて調整	マイクロクレジット、教育、エネルギーetc	原則1月~3月(1-2ヶ月)	2名程度	英語・ベンガリ	10ドル/日(幹旋可)	ダッカ他	Grameen Bank, Exposure visit 料金30-50ドル、インターン学生の研修テーマに応じて研修内容はFlexibleに対応
ケニア	ケニヤッタ大学教育学部(広島大学コラボレーション・センター)	教育開発	アフリカの教育開発全般 日本語教育・体育教育他	随時(1-3ヶ月)	若干名	英語	学内ゲストハウス宿泊30ドル/日要相談	ナイロビ	インターン学生の研究、研修希望テーマに応じ、柔軟に対応。専用のオフィススペース有。 大学外で現地調査を行う場合は、政府発行の調査許可取得に3-6カ月程度かかり、取得費用も数百米ドル必要であるため、赴任までの準備期間に余裕を持たせておく必要がある。
アメリカ合衆国	フロリダ州立大学	高等教育	高等教育機関教員(TA)の養成	1ヶ月程度	若干名	英語	近隣ホテル	タラハッチー市フロリダ州	同大学が主催するTA研修に参加するとともにメンターについてフィールド活動も体験する。 HUSA提携校の一つ 現地において調査許可を取得することができないため、上記研修活動に加えて、独自にテーマを持って調査を行うことは非常に困難である。事務局、担当教員と要相談。
ロシア	ロシア科学アカデミー ウラル支所	環境地球化学・資源地球科学	環境地球化学・資源地球科学	随時(2週間程度)	若干名	英語・ロシア語	近隣ホテル	Miss, Chelyabinsk district, Russia	
オーストラリア	グリフィス大学 量子力学センター	量子情報科学	量子情報通信、量子計算処理、量子測定、精密測定(以上、実験研究、理論研究とも)	2か月以上。基本的にいつでも	2人(実験研究1人、理論研究1人)ただし柔軟に対応可能	英語	近隣シェアードハウス(比較的安い料金で利用可能)学生寮(11月-2月)	ブリスベン	外国人学生受入の実績が高く、学生へのサポート体制は充実している。
沖縄、海外(未定)	沖縄平和協力センター(OP: National Directorate for Prevention of Community Conflict)	紛争予防、紛争分析、平和構築	紛争分析、コミュニティ紛争予防、ワークショップ運営	未定(長期休暇中)	若干名	英語・日本語		沖縄	
ミャンマー	Ministry of livestock and fisheries, Department of Fisheries	漁業管理、海洋環境保全	沿岸漁業、養殖、海洋環境保全	2014年7月以降	2名程度	英語	ヤンゴンのHead quarterにはゲストハウスがあるが利用可能かは確認中。ホテル相場は\$70	ヤンゴン	
フィリピン	Silliman University, Institute of Environmental and Marine Science	海洋環境保全、海洋保護区、海洋生物研究	海洋保護区における動物資源の育成・拡散、海洋生物の基礎研究	2014年7月以降	2名程度	英語	大学の寮が利用可能(万が一空き室が無い場合は、近郊ホテルが\$20程度)	ドゥマゲテ(ネグロス島)	自ら積極的に海洋生物学研究を行う姿勢が求められる。ラボのベンチフィーとして\$10/日が必要。
中国	中南大学	資源地球科学・鉱物学	金属資源	2-3週間	2名	英語	Guest Hotel of Central South University	湖南省	
韓国	韓国教員大学	教育分野	日韓における理科教育および数学教育に関する研究状況の比較	2014年8月から約4週間	2名	英語	韓国教員大学の教授会館(ゲストハウス)	清州(チョンジュ)市	韓国教員大学の教授会館(ゲストハウス)を安価で利用可能であるが早めの予約が必要
未定	AMDAボランティアセンター	医療和、平和構築	医療和平プロジェクトの調整、被災者、難民支援	未定(長期休暇中)	若干名	派遣先言語による	派遣先からのあっせん		

東ティモール	UNDP	平和構築	復興支援、自然災害対策		若干名	インドネシア語・英語	ディリ市内のホテル(1日20-30ドル)	ディリ市	
東ティモール	UNICEF	平和構築	青年議会支援		若干名	インドネシア語・英語	ディリ市内のホテル(1日20-30ドル)	ディリ市	
在外事務所	JICA事務所	国際協力・開発援助	受入事業所による	受入事務所による		受入事業所による			H26年度募集に関しては4月上旬の予定
タイ	UNESCAP			随時。但し3か月以上		英語	近隣ホテル(紹介あり)	バンコク	政治情勢によっては派遣取りやめの可能性があります。
Hiroshima	UNITAR(国連ユニタール)	学生の専門に応じて調整	OJT	1-3月、4-6月、7-9月、10-12月	ピリオドごとに2名	英語・日本語	広島市内通勤	広島市中区	英語、日本語で業務遂行可能なドクターレベルの学生期間は3ヶ月以上

色塗りの機関は推薦後、受入機関によって選考がなされる機関

※照会先: G.ecbo事務局 < gecbo@hiroshima-u.ac.jp >

2. 専門ECBOプログラム(特定研究科所属学生対象)

a. i-ECBOプログラム(国際協力研究科所属の学生のみを対象)

国名	企業/機関名	受入対象分野	研修・研究テーマ等	研修実施期間	派遣可能人数	言語	宿泊施設	住所	備考
ラオス	The Lao Institute for Renewable Energy (NGO)	環境	バイオマスイノベーション、バイオ燃料生産、廃水処理システムの導入等	8月～(2か月以上)	1～2名	英語	近隣にシェアハウスあり	ビエンチャン	http://www.lao-ire.org/
インドネシア	バンドン市(West Java Environmental Protection Agency)	環境	廃棄物処理、水資源管理、災害被害の緩和等	夏期ラマダン後(1ヶ月)	2名程度	英語・インドネシア語	近隣ホテル有 24USD(シングル)35USD(ツイン)/日	バンドン	http://www.bplhdjabar.go.id
インドネシア	スラバヤ市	環境	交通問題、ゴミ問題	1-2か月	若干名	英語、できればインドネシア語	近隣ホテル 23ドル程度/日	スラバヤ	
インドネシア	JICAインドネシア事務所	環境	気候変動対策プロジェクト	受入機関との調整により決定	若干名	英語、できればインドネシア語		ジャカルタ	
ネパール	Alternative Energy Promotion Center (AEPC)	環境	環境プログラム	受入機関との調整により決定	若干名	英語	近隣ホテル	カトマンズ	
未定	株式会社バデコ	教育開発		受入機関との調整により決定					
ベトナム	ベトナム建築都市農村研究所	環境	都市のヒートアイランド	8月下旬～9月下旬(約1か月)	1名	英語・ベトナム語	近隣ホテル	ハノイ	
インドネシア	ブライジャヤ大学	環境	住宅の省エネルギー	9月～10月(約2か月)	1名	英語・インドネシア語	要照会	マラン	
マレーシア	マレーシア工科大学スルタンイスカンダー研究所	環境	省エネルギー住宅	1ヶ月～3ヶ月	3名	英語	学生用宿舎、ゲスト用宿舎	ジョホール	
インド	オリエンタルコンサルタンツ	環境	インフラ整備	1ヶ月間	1～2名	英語	要相談	バンガロール	
インド	Gujarat Institute of Disaster Management (GIDM)	災害対策	災害対策がメインだが、持続可能な発展全般	フレキシブル	2、3名	英語	あり(要相談)	グジャラート	
フィリピン	国際非営利法人ICLEI (International Council for Local Environmental Initiatives)	東南アジア環境	環境プログラム	随時(原則2ヶ月以上)	若干名	英語	近隣ホテル有 1,300-2,400円/日	ケソン	フィリピン国内各都市にて実施されている環境プロジェクト調査に従事。業務遂行可能な英語力が必要。職歴があれば尚可。Skype面接あり。
日本国内	IGES	環境	募集プロジェクトによる	夏季募集終了 冬季(2か月以上)					

色塗りの機関は推薦後、受入機関によって選考がなされる機関

※照会先: i-ECBO事務局 < i-ECBO@hiroshima-u.ac.jp >

b. ads-ECBOプログラム(先端物質科学研究科所属の学生のみを対象)

国名	企業/機関名	受入対象分野	研修・研究テーマ等	研修実施期間	派遣可能人数	言語	宿泊施設	住所	備考
台湾	高雄Chang Gung記念病院 医学研究部 移植再生研究室	医学	免疫抑制機構に関する研究研修	夏期休業中(1ヶ月)	若干名	英語・日本語	ゲストハウスー泊350元(約 1200円)	高雄	受入先承諾済(共同研究実施中)。期間は約1ヶ月
英国	英国癌研究所(CRUK)	理学、医学、農学	細胞増殖制御に関する研究研修	夏期休業中(1ヶ月)	若干名	英語・日本語	未定	ロンドン	受入先承諾済(共同研究実施中)。期間は約1ヶ月

※照会先 担当教員・河本先生 < skawa@hiroshima-u.ac.jp >

c. ECBOプログラム(工学研究科所属の学生のみを対象)

詳細については 工学研究科学生支援グループへ直接お問い合わせください。

※照会先 工学研究科学生支援グループ < Kou-gaku-daigakuin@office.hiroshima-u.ac.jp >